

親切運動の取組について

学校名 魚津市立西部中学校

生徒数 436名

1 親切運動の取組の紹介

「LOVE & PEACE 運動」

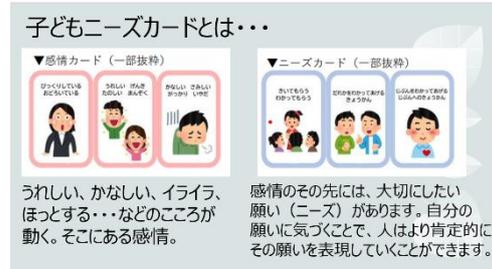
生徒会執行部が中心となり、愛と平和が溢れる学校にしたいという思いのもと、「LOVE & PEACE 運動」を行った。この活動は、日常の中で見つけた友達の思いやりのある行動や、素敵だと思った行動を、終学活のグループミーティングで共有するというものである。この活動を通して、普段なかなか気付けない友達のよいところに気付くことができ、それを共有することで、温かい雰囲気生まれた。また、クラスだけでなく、全校で共有するために、右の LOVE & PEACE の木を全校生徒で作成し、生徒玄関に掲示した。



「相手の気持ちを考えることに重点を置いて取り組んだ人権週間」

今年度の人権週間の取組では以下の目標を掲げ取り組んだ。

- ①自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる人権感覚を身に付けること
- ②SNS を利用する際は、相手の気持ちを考え、被害者にも加害者にもならない使い方を考えること



これらの目標を達成するために、まず、子どもニーズカードを使って、自分の感情やニーズを適切に表現するための活動を行った。また、SNS でのやり取りの例をいくつか提示し、そのやり取りが適切かどうか、どのような点に気を付ければトラブルを避けられるか等について話し合いを行った。多くの生徒が SNS を利用していることもあり、身近な問題として真剣に考える様子が見られた。さらに、自分の気持ちを適切に表現し、伝える際に注意すべき点について、生徒たちは話し合いを通して気付くことができた。

2 親切運動に取り組んで

・取組の成果

生徒会執行部が中心となり、全校生徒が安全に安心して過ごせる学校づくりを目指して活動を行ってきた。上記の活動を通して、相手のよいところを見付けることにより、相手も自分もよい気持ちになるだけでなく、よい関係づくりにつながると感じられた。また、他者とのコミュニケーションにおいて、発信する側と受信する側で誤解が生じることも会話の例や話し合い活動を通して気付くことができた。

・課題と今後に向けて

全校生徒の考える安全に安心して過ごせる学校には様々な意見がある。他者との関わりを大切にしながら今後も生徒会活動を続け、そのような学校の実現を目指していきたい。